

## 国立病院機構米沢病院で高齢者交流の場 「元気で長生き体操交流会」を9月30日（金）に開催

国立病院機構米沢病院（病床数220床 飛田宗重院長）では、今後迎える高齢化社会に向けて地域住民の健康を通じた明るい街づくりに貢献が出来るよう、地域住民のコミュニティーの場として、リハビリテーションスタッフを中心とした「体操教室」を9月30日（金）に開催します。

この体操教室は、平成27年2月より週2回開催しており、開催当初は数名の参加者でしたが、職員のポスター掲示による周知などにより、今では多いときで約30名まで参加者が増加しました。

体操教室は、実際に健康相談も併せて行えることや、季節ごとに体操の内容を変えるなど健康に興味を持ってもらえるよう工夫しています。

今回の取り組みは、厚生労働省が示している2025年を目途とした地域包括ケアシステムの実現へ向けて、国民の医療や介護の重要性がさらに増加することが見込まれ、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域貢献の一助と成り得る一例として今後も活動を続け全国的にもモデルケースとなる事が出来れば、より良きものになれると考えております。

今後も地域住民との関わりを大切に、地域に貢献できる取り組み活動を続けることとしております。

体操教室参加や詳細については、国立病院機構米沢病院地域医療連携室までご連絡ください。

